

審査した議案

7月臨時議会、9月定例議会が開催され、平成24年度一般会計補正予算等の議案が審議されました。本会議並びに連合審査会、各常任委員会にて審査された主な質疑の内容と採決の結果を報告します。

報告

■10号 平成23年度香美市健全化判断比率の報告について

本市の健全化判断比率について、実質黒字比率4・04%、連結実質黒字比率9・84%、実質公債費比率12・0%、将来負担比率は負担額が生じていないため数値はないと報告があった。

■11号 平成23年度香美市資金不足比率の報告について

本市の公営企業に係る資金不足比率について



豪雨により道路にあふれる濁水

て、資金不足は生じておらず資金不足比率はないと報告があった。

■12号 専決処分事項の報告について

住宅新築資金等貸付事業に係る訴えの提起について報告があった。

承認

■10号 専決処分事項の承認を求めることについて 平成24年度香美市一般会計補正予算(第2号)

7月11日、12日の集中豪雨による崩土取り除き等を行う修繕費

議案

■67号 平成24年度香美市一般会計補正予算(第3号)

7月11日、12日の集中豪雨災害の災害復旧事業の追加、宝町体育館用地購入費の追加のほか、地方債の補正を行うもの。歳入歳出の総額に7億3137万3千円を追加し、歳入歳出予算それぞれ156億9269万1千円とした。

※本会議
教育費の体育館の用地購入は坪単価どれくらいか。

の追加及び災害復旧に係る測量設計委託の追加によるもの。歳入歳出の総額に4027万円を追加し、歳入歳出予算それぞれ149億6131万8千円とした。

A 平方メートルあたり2万200円である。
Q 基幹集落センター(香北町)の構造部材が混在していると判明し増額されているが、当初の図面ではわからなかったのか。
A 増額については構造が複雑で計算に手間がかかることと、屋根が鉄骨づくりで経年による劣化診断のために超音波検査をしなくてはならず85万3千円の増額となった。

Q 寄宿舎(香北中)の管理運営費1140万6千円の追加は、23年度から繰り越した部分に対し、さらに防水工事等の追加であるが、どういう工事か。
A 食堂棟において当初計画より倍の面積の改修が必要となり経費が大幅に増加した。また、屋上防水について激しい劣化もあり、全体の防水工事を行うことになった。



地域福祉計画・地域福祉活動計画座談会の様子(土佐山田地区)

Q 地域福祉計画を今年度策定するが地域にどのように伝えていくか。

A まずは広報で伝えるとともに、計画書の概要版を作成し知らせていくように考えている。

※全員賛成にて可決

■68号 平成23年度香美市一般会計歳入歳出決算の認定について

■69号 平成23年度香

美市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

■70号 平成23年度香美市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

■71号 平成23年度香美市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

■72号 平成23年度香

美市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について

■73号 平成23年度香美市国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定について

■74号 平成23年度香美市介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算の認定について

■75号 平成23年度香美市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)歳入歳出決算の認定について

■76号 平成23年度香美市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

※議案第68号から76号まで慎重審議のため継続審査となった。

■77号 平成23年度香

美市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び歳入歳出決算の認定について

総収益1億8772万7010円、総費用1億3299万9847円、純利益5472万7163円となった。平成23年度の給水人口は1万4312人である。

※産業建設常任委員会企業債で大蔵省資金運用部の利率が高いが借り換えの条件があるのか。

A 利率については、国で決まっております、年度により異なる。繰上償還できる借入れ利率は5%以上が対象である。

Q 5%以上の利率があるがこれは繰上償還しないのか。

A 繰上償還については補償金なしの枠一杯の償還をしており、それ以上に繰上償還するとすると補償金を上乗せし、償還をしなけれ

ばならず、5%以上の支払利息とあまり変わりなくなる。

Q 雑収益25万6765円はなにか。

A コピー代、給水申請書の用紙代等である。

Q 職員が1名減になっているが、職員定員適正化計画によるものか。

A 平成23年度人事異動による減である。

Q 監査報告に安定供給のための水源確保の必要性が問われているが、現状はどうか。

A 水源確保については4年度の簡易水道との統合で、山田簡易水道、特に上下水道に関わる談議所配水区と香長簡易水道を含めた施設を一つの配水区と捉え、水源を確保する方向で検討している。

Q 保存工事の現況の中で、量水器新設、給水戸数、検査手数料、新築等が昨年より伸びている現状に対しての見解は。

A 新設については、経済状況や南海地震対策等で津波の影響のない高台に転居されてくる等により、今後は伸びる可能性があると思われる。

Q 不納欠損で過年度分の収納の見込みは。

A 不納欠損対策としては訪宅、電話等によりできる限り徴収に努めたいと考えている。

■78号 平成23年度香美市工業用水道事業会計歳入歳出決算の認定について

事業収入及び事業支出ともに1253万2069円である。なお高知テクノパーク工業団地については工業用水の利用がないため、資本的収入において、収入が0円に対し、支出は1065万5627円であり、不足する額については過年度分損益勘定留保資金で補填した。

※産業建設常任委員会

■79号 平成24年度香美市一般会計補正予算(第4号)

繰越額の確定による前年度繰越金の追加、旧農政事務所購入費及び土地改良区補助金の追加等のほか、債務負担行為及び地方債の補正を行うもの。歳入歳出予算の総額に1億8199万8千円を追加し、歳入歳出予算それぞれ1億58億7468万9千円とする。

※連合審査会

■歳入について

■須賀神社絵馬修復事業に係る補助金が不採択となった理由は、また、今後の方針は、

■A 採否の理由については、回答されないこととなっている。今後はほかの補助金を調べ、実施できるようにしたい。

■Q 保育士研修等事業とはどういう事業か。

■A 高知県保育士研修等事業費補助金という県の補助金であり、保

育士の職員について、総合研修の講師を招いて講演等を開催するものである。

■Q 資源ごみの売り払い収入とはどういうものが対象か。

■A 金属類については一般廃棄物の缶、金属類及び粗大ごみの金属類については一般廃棄物で出されているダンボール等の紙類である。現在、資源ごみの処理についてはお金を頂いた上に処理してもらっている状況である。

■歳出について

■Q 交通輸送対策費450万1千円は来年4月からの佐岡線(仮)導入に伴うバス購入費となっているが、①車種は、②運行ルートと運行数、③利用料金について問う。

■A ①不寒冬線、西又線、町田線に新たに佐岡線(仮)が加わる場合、双方の路線で使用できるよう現在使用し

ている15人乗り程度の車両になるのではないかと。②佐岡線(仮)のルートは現時点で県道日ノ御子土佐山田線の有谷の入り口を起点とし、佐岡小学校前を通り物部川北岸の香我美橋、そこから鏡野公園へ行き、折り返して香我美橋から市道を通り土佐山田駅までのルートを設定している。③料金については、佐岡地区は3キロ、8キロという距離なので片道300円になるかと思う。

■Q 総務費の中のカウンセリング謝金とあるがどういったものか。

■A 以前より精神的な負担による不調を訴える職員(現在5名程度)が出てきており、そういった職員のカウンセリングを精神科医1名により、月1回2時間程度行うもの。

■Q 旧農政事務所購入費について、公文書保管場所及び公用車駐車

場ということだが、価格の積算根拠は。

■A 不動産鑑定事務所に委託して鑑定をしている。

■Q チェーンソーの作業者講習会は誰が何名受けるのか。

■A 労働安全衛生法第59条第3項に基づく特別教育を行わなければいけない危険な業務の一つとしてチェーンソー業務があり、職員が18名講習を受ける予定である。

■Q ブラザ八王子の保守点検が当初予算より3分の1くらい安く納まっている。減額の原因は。

■A 随意契約で昨年まで行なっていたが、監査の指摘を受け、入札にした結果、減額となった。

■Q 墓地等経営許可台帳整理事業とは。

■A 県から平成24年度に引き継いだ墓地等経営許可業務に必要な台帳を整理する目的によ

り、まちづくり推進課が計画している事業である。

■Q 教育課題緊急対策事業とは。

■A 市内の小中学校において、教育課題の解決に向けて学力意識調査の分析、検証及び児童・生徒の学習活動や生活指導の支援を行う職員を配置するというもので教育振興課で計画している事業である。

■Q 文化財整理事業とは。

■A 文化財の保存、活用にあたり、市で保管

している民具、資料を分類する。また、民具台帳の作成と展示公開に向けての準備をすることを目的とし、生涯学習振興課の方で計画している事業である。

■80号 平成24年度香美市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

大橋簡易水道施設整備事業の国庫補助金及び繰越金の確定により、歳入予算補正を行うもの。

※産業建設常任委員会



文化財の絵馬のある須賀神社



市道に路線認定した「南岩改修原線」

Q 国庫補助金が減額になった特別な理由は、
A 減額については東日本大震災に伴う影響である。

■81号 平成24年度香美市国民健康保険特別会計(事業勘定) 補正予算(第1号)

本年度の社会保険診療報酬支払基金からの交付金及び納付金等の概算額確定等による調整と国庫負担実績報告に基づく返納金などに伴うもので、歳入歳出予算の総額にそれぞれ5234万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ40億7723

万4千円とするもの。
※教育厚生常任委員会
Q 療養給付費負担金は、昨年減額だったが、今年は単純に増えたのか。
A そのとおりである。

Q 一般被保険者高額療養費の財源振替の380万2千円は自己負担か。
A 基金の確定により減ったので、その分を一般財源に振り替えたものである。

■82号 平成24年度香美市介護保険特別会計(保険事業勘定) 補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額

にそれぞれ1361万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ30億1586万8千円とするもの。
※教育厚生常任委員会

Q 平成23年度の繰越金を全額、国・県の償還金に充てるということは、償還金が確定したということか。
A 償還金の確定はまだである。繰越金を全額充てても不足すると思われるので、確定後に不足額を12月に補正にて対応する。

■83号 平成24年度香美市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定) 補正予算(第1号)

ケアプラン作成委託料の追加に伴う歳入歳出予算の補正によるもので、歳入歳出予算の総額にそれぞれ111万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1877万4千円とするもの。
※教育厚生常任委員会

設置における法律の異なる「公益社団法人及び公益財団法人」及び「特定非営利活動法人(NPO法人)」について、法人住民税(均等割)の減免の対象条件を規定するため条例の一部を改正するもの。
※総務常任委員会

■84号 香美市税条例の一部を改正する条例の制定について

旧香北町時から公共工事により整備されてきた道路について、合併以前に町道認定事務が抜かっていたため、市道「南岩改修原線」として認定するもの。
※産業建設常任委員会

■85号 市道の路線の認定について

認定に理由を記載。

Q 認定漏れが判明した理由は、
A 災害調査時に道路台帳の認定事務の不備が判明したためである。
※77号、85号まで全員賛成にて可決

請願

■1号 学校給食資材の発注に関する請願書
※教育厚生常任委員会
※審査するには不十分につき、請願書提出者にも説明を求めめる必要があり、閉会中の継続審査にすべきものとなった。

意見書案

■11号 オスプレイを配備、訓練飛行させないよう求める意見書の提出について
※賛否同数のため議長採決となり、議長賛成にて可決となった。

発議

■1号 香美市議会基本条例の制定について
■2号 香美市議会議員政治倫理条例の制定について
■3号 香美市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

■12号 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の提出について
※全員賛成にて可決

■13号 通学路における児童生徒の安全対策の強化を求める意見書の提出について
※全員賛成にて可決

■14号 生活保護の予算を削減しないよう求める意見書の提出について
※賛成5名、反対16名にて否決

記載。